



つきがせ

平成24年3月16日
伊豆市立月ヶ瀬小学校

1年間のご協力に感謝申し上げます

学校長 鈴木二三哉

観富山から昇る陽も、次第に時刻を早め、子どもたちの朝運動をやさしく包み込んでいます。夏が来て、秋を過ごし、冬を耐え、再び春を迎えることとなりました。その間、大きな事故もなく、修了式、卒業式を挙げることを本当に幸せなことと思います。昨年は、東北地方で大きな災害に見舞われ、卒業を間近に尊い命を奪われた子どもたちがいました。また、校舎が津波にのまれ、卒業式ができなかった学校もありました。同じ日本の国内にそうした子どもたちや学校がありながらも、明日のよき日を迎えられる我々は、再び自分の身を正さずにはられません。



保護者、地域の皆様には、この一年間、大変お世話になりました。本校の教育活動も、確実な発展を遂げ、一年間を終えることとなりました。我々は、「聴きあい、考え合い、伝え合う」を重点目標として取り上げ、子どもたちへの指導に努めてまいりました。人の話を聞くこと、それをもとに自分の考えを持つこと、こうした点に子どもたちの成長が見られました。しかし、まだ、自分の考えを自分の言葉として表現する点に課題は残されていると思っています。来年度は、三小学校の統合を前にした月ヶ瀬小学校最後の一年間となります。大勢の中でも適切な自己表現ができる子どもたちの育成に、全力を挙げていきたいと思っています。

さて、上にも書きましたように、来年度は、明治5年に村学校として開校し141年間の歴史をつづる「月ヶ瀬小学校」は、最後の年を迎えることとなりました。我々は、「さみしい」という地域の方々や保護者の皆様の感情に共感しつつ、新しい道を切り開いていく子どもたちに希望を持たせたいと思っています。「ありがとう月ヶ瀬小、ともに創ろう天城小」の思いを子どもたちに持たせ、地域の方々や保護者の皆様と一緒に、最後の月ヶ瀬小学校の一年間を意義あるものとしていきたいと考えています。本年度以上のご協力をお願いします。